

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311



**教祖120年祭を目指し、
道の後継者の育成を念頭に邁進しよう。**

Tamami. T

会長就任記念総会に 寄せて

来る四月十九日六代婦人会長就任記念第八十四回総会が開催されるにあたり、『かさおか』への原稿依頼を頂きましたので、この場をお借りして会員の皆様方に一言申し上げたいと存じます。

思い返せば一年前、婦人会創立九十周年の句を頂き「育つ努力 育てる丹精 一手一つの和」を活動のスローガンに、日々活動方針の実践に心を尽くし、道の台の使命を果たしていくことを申し合わせてつとめさせて頂いてまいりました。これは、従来のように、言われるのを待つのではなく、会員一人ひとりが日々の努力により、自分から行動を起こすことを求めて歩ませて頂いたのではないかと存じます。九十周年総会も滞りなくつとめさせて頂き、笠岡支部では、会長様御臨席の総会もつとめさせて頂いた翌月の御本部月次祭時に、忘れもしません、かんろだいのふしをお見せ頂いたのではないかと存じます。この度はこのことは、信仰の中心であるかんろだいに関わる大ふしでございました。親の目から御覧になられて、「本当に何をしているのや」、「どんな心を遣っているのや」とお仕込み頂いたように忘れぬことのできなさいと存じました。そ

れに引き続き、会長様の御身上というふしを頂いたのでございました。私達の望みは一日も早い会長様の御快復でございました。昨年四月の総会に、お元気な姿で御挨拶頂きました時の喜びは、本当に大きなものでございました。その翌月五月二十七日の婦人会支部長主任会にお出まし下さいました時に、例会後改めて全支部長・主任をお集め下さり、翌年の総会に向かって別席者の御守護を頂くこと、勇みの渦を起こす働きをお促し頂いたのでございますが、私達にとりましては、それが会長様にお出まし頂いた最後の支部長会になったのでございました。再び会長様御身上の知らせを聞かせて頂いたのが、一ヶ月後七月の初め頃でございました。支部長・主任一同、おちばに集合させて頂き真剣に練り合い、心定めをさせて頂き、お示し頂いた目標に向かって躍進することを親神様の御前に誓い、御快復を祈願させて頂いたのでございます。以来、朝夕、国内外をとわず会員一人ひとりが心をこめて祈り続けてまいりました。その後会長様には、不思議な御守護を頂かれ、小康を保たれておられると伺い、一同安堵の胸を撫で下ろしたこともございました。更に一層会員としてのつとめに心を打ち込ませて頂きましたが、遂にお出直しという厳しい現実に直面させて頂いたのでございます。本当にこれは大きなつとめないふしでございます。ですがわたしたちはふしから芽を吹かせて頂かなければならないのでございませう。まさか会長様が、会長御就任以来ずっと思いを

込められたこと一年限に相応しい成人 一年限に相応しい婦人会活動」この思いを今熟考させて頂いているのでございます。昨年総会での会長様の言葉は、忘れることができません。日々の暮らしの中で、神様にお喜び頂けること、お受け取り頂くことを学び合い、陽気ぐらしを生み出す台として実行することが、婦人会活動でございます。まさか会長様が、本年総会に向けてお打ち出し下さいましたことは、一万七千のどの委員部も皆残らず動いて頂きたいという思召であるうと思わせて頂くのでございます。『今までに心にかかっていながら実動できなかったことを何からでもこの句に実動へと踏み切っていたいただきたいのでございます。動かなければ何も分かりません。動きも出てまいりません。しっかりと動かさせていただきましょう』私達はこのお言葉をしっかりと心に刻ませて頂いて、新しく御就任下さいました会長様に、しっかりと肉を巻かせて頂ける活動を進めさせて頂きたいと願わせて頂いています。

どうぞ皆様方一人ひとりが、婦人会成人目標を自らの成人目標として、これからも励まし合って台に相応しい成人の道を、歩ませて頂きませう。就任記念総会というまたとない旬にめぐり合わせて頂きましたことを、しっかりと心して通らせて頂きたいと存じます。

つとめないことばふし、
ふしから芽を吹
く やれふしやふし、
楽しみやと大き
い心を持ちてくれ (M 27・3・5)

二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には「月日にハせかいぢううはみなわが子かハいいつばいこれが一ぢよ」と昼夜を分かつたず御見守り下さりお育て下さるだけでなく「だんく」とせかいぢううをしんぢつにたすけるもよふばかりするぞや」と常に成人へとお導き下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は成つて来る理に「たすけたい」との親心を感じ感謝の意を強くすると共に御恩報じを念じて日々は「つとめとさづけ」を通してたすけ一条の上に邁進させて頂いております

その中にも今日の吉日はこの名称の二月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同たすけ心も一汐に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます

御前には寒さ厳しき中も厭いませず今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供たちが同じ思いに伏し拝み尚も変わらぬ御守護にお継りする状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて世界情勢は霧が晴れるどころか暗雲が立ち込めている感があります テロもそれに対する報復攻撃もどちらも正義を唱えつつ殺りくを繰り返していますし純粹なスポーツの祭典であるベキオリンピックも欲がからみ政治的な思惑もからんで純粹さを失っています 実に残念な事であります がしかし一方でボランティア等で人の為に汗を流す人が増えて来ているのも事実で心強い感があります 親神様より「せかいぢううたがいなたすけするならば月日も心みなひきうける」とお聞かせ頂いております私共は陽気ぐらし建設の用木との自覚を尚一層強くしたすけ合いの理が世界に広まるよう「にをいがけ」と「道の後継者育成」を合言葉に「つとめとさづけ」を通してますますたすけ一条に邁進する覚悟でございます

何卒親神様には皆の心定めの真実をお受け取り下さいまして万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り人々に真実の親を知らしめ一列兄弟の理に目覚めさせて互いに助け合い心澄み切ってお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

学生層育成者講習会

日 時	平成14年5月21日(土)正午～ 5月月次祭 祭典講話として
講 師	本部学生担当委員会委員 (未定)
内 容	講話「学生層育成の大切さ」
対 象	協会長夫妻・布教所長夫妻・よふぼく・信者

※報告書提出の都合上、受付にて参加人数をお知らせ下さい。

お知らせ

四月二十八日・二十九日に開催を予定しておりました「道の後継者練成会」は、都合により、六月三十日開催に変更します。

記念 就任 長 今

第84回総会

立教165年 **4月19日**

笠岡支部別席団参

式典
午前九時三十分
本部中庭 南・東・西礼拝場前
土持ちひのきしん 式典後引き続き

日程

- (いずれの便も大教会発着)
- ▲ 3月30日(土)～31日(日)
別席(31日 午前・午後)
- ▲ 4月7日(日) 日帰り
別席(7日 午後)
- ▲ 4月13日(土)～14日(日)
別席(14日 午前・午後)
- ▲ 4月17日(水)～19日(金)
教祖誕生祭参拝・婦人会総会・別席
- ▲ 4月25日(木)～26日(金)
月次祭参拝・別席(25日 午後)

参加費

5,000円
(往復運賃のみ、宿泊・食費は別途)

一 委員部 一名以上の別席者を

婦人会別席月間 三月二十六日～四月二十六日
委員部長てをどりまなび 十八日午後五時 南門周辺



今年「国際山岳の年」である。何のコッチャと
思うでしょうが、国連が二〇〇二年を「国際山岳の年」と
宣言し、国際的なキャンペーン活動を展開している。
具体的には、地球温暖化や森林伐採などによる環
境破壊の脅威にさらされている山岳地帯の生態を守
り、山地に住む人々の貧困を解消し、水資源の確保
や、希少生物の生息地として重要な山岳地帯の生態
系保護の重要性や、約八億人が慢性的な栄養不足に
悩んでいるとされる、発展途上国の山岳地帯の人々
の生活レベルの向上に向けた取り組みを推進する“
という長つたらしいものである。水の惑星がいかに
瀕死の状態にあるかが分る。
さて、私達は親神様の「ふところすまい」と聞か
されている。が、頭では分かるが体では分からない
というのが本音ではなかるうか。例えばコップ一杯
の水や、ひと粒の米のありがたさは分っているよう
で分っていないのではなかるうか。この地球上では
食べ物がなく一日約五万人の子供が死んでいく、
というこの現実を聞いても私達は心が痛むのを通り
越して無感覚になっている。溢れる物に困まれ溢れ
る食べ物を前にして感覚が完全に麻痺してしまった。
道の教えを聞いている私達は今一度足元を見直し、
“もったいない”の心を取りもどさねばならないと
思う。
二十一世紀は水の争奪から戦争になると警告され
ている。一杯の水、ひと粒の米を大切にし、広く大
きな目で親神様の創造られたこの地球を考えねばな
らない、と私はいつも思う。